<u>ュ リ カ モ メ</u>

Larus ridibundus

種名



分類	チドリ目 カモメ科
特徴	くちばしと脚が赤い、全体に白っぽい小形のカモメ類。ユーラシア大陸の温帯
	から亜寒帯で広〈繁殖し、日本には冬鳥として多数が渡来し、主に本州以南で越
	冬する。
生活	越冬期には、海岸、港、河口などで数十羽から数百羽の群れが見られる。他
	のカモメ類よりもよく内陸に入り、川の中・下流、湖、堀などでも見られる。河口か
	 ら数十キロも川を遡ることがある。採餌法は変化に富み、アジサシ類のようにダ
	イビングして魚を捕まえたり、半開きにした〈ちばしを水面につけ、飛びながら前
	進して魚を追ったり、昆虫などをついばんだり、いろいろな行動を見せる。
声	冬期も夏期も同じような声で「ギィーギィー」とか「クヮッークヮッー」という少し
	濁った声で鳴く。なお、繁殖地では集団で巣を作り、人が近寄ると「グヮーグヮ
	ー、ガッガッ」と大変やかましく鳴きかわし、頭上を群れで飛び回る。
見分け方	冬羽では〈ちばしと脚が赤〈、翼の上面は淡い青灰色で、初列風切の先が黒
	い。夏羽では頭が頭巾をかぶったように黒〈なる。スグロカモメは、〈ちばしが黒〈
	て短く、初列風切の先は黒色部が点状に切れる。
時期	(月) 1 2 3 4 5 - - 9 10 11 12
その他	全長(L)40cm 翼開長(W)93cm
	参考文献:山渓カラー名鑑 日本の野鳥